

2023年4月24日

各位

太陽生命保険株式会社  
代表取締役社長 副島 直樹



## 太陽生命、長野県駒ヶ根市に所在する太陽光発電事業への投資を実施 (太陽光発電ポートフォリオ向けグリーンプロジェクトボンド案件)

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社(社長 副島直樹)は、ESG投融資の一環として、長野県駒ヶ根市に所在する太陽光発電事業を対象とするグリーンプロジェクトへの投資を決定しましたのでお知らせいたします。

本件によって調達された資金は、総発電容量約31.9MWの太陽光発電所の建設資金及び関連費用等に充当され、CO2排出量削減に貢献することが期待されます。

### <概要>

借入人：駒ヶ根太陽光発電所合同会社

スポンサー：ピーシーピージージャパン株式会社

アレンジャー：みずほ証券株式会社

組成金額：134億円

SDGs：本件によって調達された資金は、当該太陽光発電事業を通じて、SDGsの下記目標の達成に貢献します。



当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則(PRI)」<sup>(※)</sup>に署名し、環境(E)、社会(S)、企業統治(G)の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。また、機関投資家として、カーボンニュートラルの実現に向けた取組みを進めるべく、投融資先のCO2排出量について、2030年度までに40%削減(2020年度比)する中間目標をT&D保険グループ共通で設定し、社会全体の排出量削減に貢献することを目指しています。

今後とも、責任ある機関投資家として、「T&D保険グループESG投資方針」に基づき、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献する取組みを進めてまいります。

以上

<sup>(※)</sup> 責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治(ESG)の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。

